

津地区の景況調査

令和2年上期実績と令和2年下期見通し
(令和2年7月調査)

津商工会議所中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と来期の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	利益状況	8
4	販売条件と仕入条件	9
5	設備投資	1 1
6	資金繰りの動向	1 1
7	借入の動向	1 3
8	借入予定、借入希望先、借入資金の使途予定	1 3
9	経営上の問題点	1 5
■	景況調査票	

I 調査概要

- 1 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。
- 2 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている企業2,001社を対象に調査を実施した。
- 3 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
- 4 調査期間 令和2年7月1日～同月10日
- 5 調査対象期間 令和2年上期（1月～6月）実績と令和2年下期（7月～12月）見通し
- 6 回収集計数 回収集計数企業 364社（回収集計率 18.19%）
うち小規模企業 204社
- 7 調査機関 津商工会議所中小企業相談所

DI = Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) とは

本文のDIとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」したとする企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

BSI = (Business Survey Index (ビジネス・サーベイ・インデックス) とは

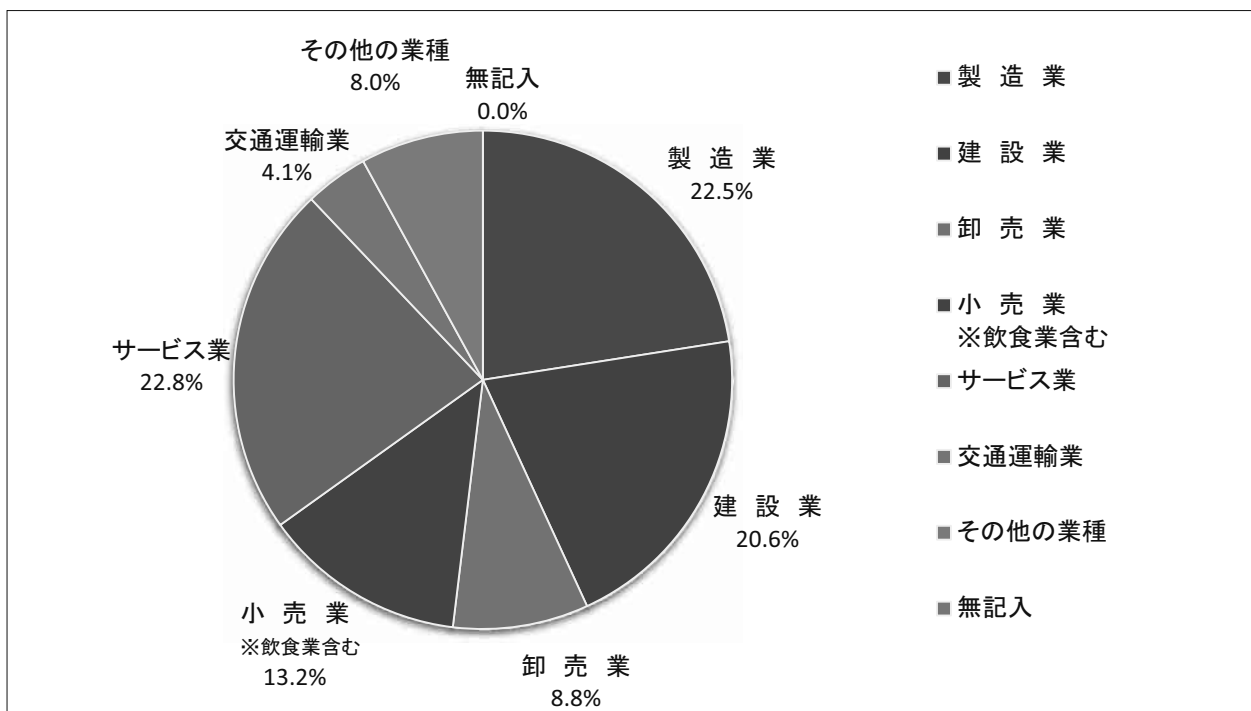
本文のBSIとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」したとする企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値を2で割った値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

回答状況

業種別回答比率



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	143	106	49	30	35	1	364
	39.3	29.1	13.5	8.2	9.6	0.3	
製造業	17	28	11	13	13	0	82
	20.7	34.1	13.4	15.9	15.9	0.0	
建設業	36	20	13	2	4	0	75
	48.0	26.7	17.3	2.7	5.3	0.0	
卸売業	11	12	7	2	0	0	32
	34.4	37.5	21.9	6.3	0.0	0.0	
小売業 ※飲食業含む	22	12	4	2	8	0	48
	45.8	25.0	8.3	4.2	16.7	0.0	
サービス業	43	21	8	3	7	1	83
	51.8	25.3	9.6	3.6	8.4	1.2	
交通運輸業	0	6	3	5	1	0	15
	0.0	40.0	20.0	33.3	6.7	0.0	
その他の業種	14	7	3	3	2	0	29
	48.3	24.1	10.3	10.3	6.9	0.0	
無記入	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

全 産 業 D I

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
2019年1月～6月 実績	▲13.2	▲14.0	▲18.4	▲12.4	▲21.2	▲6.2
2019年7月～12月 実績	▲21.6	▲12.5	▲17.3	▲18.9	▲21.0	▲10.1
令和2年1月～6月 実績	▲64.0	▲64.1	▲63.8	▲31.0	▲18.9	▲30.5
令和2年7月～12月 見通し	▲62.0	▲64.0				▲34.3

業 種 別 D I (令和2年1月～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	▲73.1	▲71.9	▲69.5	▲39.0	▲17.1	▲41.5
建 設 業	▲57.3	▲54.7	▲58.6	▲24.0	▲16.0	▲18.7
卸 売 業	▲75.0	▲75.0	▲68.8	▲12.6	▲12.5	▲21.9
小 売 業 ※飲食業含む	▲60.4	▲62.5	▲54.2	▲20.8	▲16.6	▲27.2
サービス業	▲65.1	▲63.9	▲69.9	▲43.4	▲27.7	▲33.8

Ⅱ 調査結果

1 現状と来期の見通し（表－1、図－1・2参照）

(1) 現状

全産業の業況判断D Iは、今期▲64.0となり、前期▲21.6と比べ、42.4ポイント悪化となった。前期は前々期と比べ、8.4ポイントの悪化であったが、今回の調査では新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたとみられ、大幅に悪化となる結果となった。また、小規模企業は今期▲66.1となっており、前期▲20.9と比べ、45.2ポイントの大幅な悪化となった。業種別では、すべての業種で悪化となっており、建設業（▲57.3）、卸売業（▲75.0）、サービス業（▲65.1）においては45.0ポイント以上の悪化となった。小規模企業も、建設業、卸売業、サービス業が45.0ポイント以上の悪化となった。

(2) 来期の見通し

全産業の来期の見通しD Iは▲62.0と、今期の業況判断D I ▲64.0より2.0ポイント改善する見通しを示している。また、小規模企業においては▲65.7の見通しで、今期の業況判断D I ▲66.1より0.4ポイントとほぼ横ばいの見通しを示している。業種別では、建設業、サービス業を除き改善、小規模企業は、建設業、サービス業を除き改善、製造業はほぼ横ばいの見通しとなっている。

表－1 経営の現状と来期の見通し

	業況判断D I			今期と前期との比較 (③－②)	見通しD I	今期と来期の 見通しとの比較 (④－③)
	前々期 ①2019年 1月～6月	前期 ②2019年 7月～12月	今期 ③令和2年 1月～6月		来期 ④令和2年 7月～12月	
全産業	▲13.2	▲21.6	▲64.0	▲42.4	▲62.0	2.0
	▲14.8	▲20.9	▲66.1	▲45.2	▲65.7	0.4
製造業	▲18.8	▲49.2	▲73.1	▲23.9	▲67.1	6.0
	▲35.9	▲61.3	▲80.0	▲18.7	▲80.0	0.0
建設業	9.4	▲11.7	▲57.3	▲45.6	▲63.9	▲6.6
	10.4	▲7.9	▲62.5	▲54.6	▲69.6	▲7.1
卸売業	▲3.6	▲5.9	▲75.0	▲69.1	▲71.9	3.1
	▲37.5	▲7.7	▲72.7	▲65.0	▲45.5	27.2
小売業 ※飲食業含む	▲38.3	▲37.8	▲60.4	▲22.6	▲43.8	16.6
	▲32.0	▲23.8	▲63.6	▲39.8	▲50.0	13.6
サービス業	▲21.7	▲13.5	▲65.1	▲51.6	▲67.5	▲2.4
	▲23.2	▲13.0	▲58.1	▲45.1	▲67.5	▲9.4

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示
※下段の値は小規模企業

	業況判断			来期の見通し
	前々期 2019年1月～6月	前期 2019年7月～12月	今期 令和2年1月～6月	令和2年7月～12月
全産業				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業 ※飲食業含む				
サービス業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期のDI値により表示
快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨

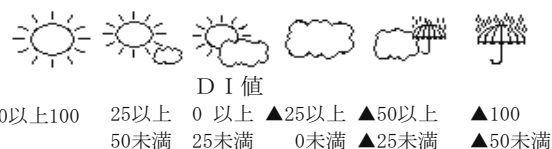


図-1 津地区の業況判断の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値

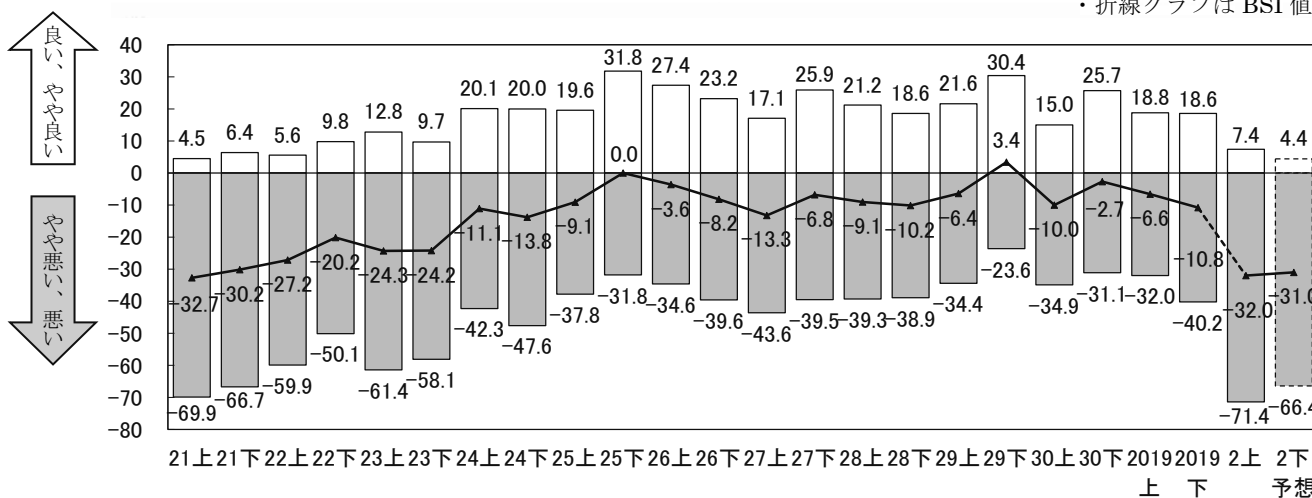
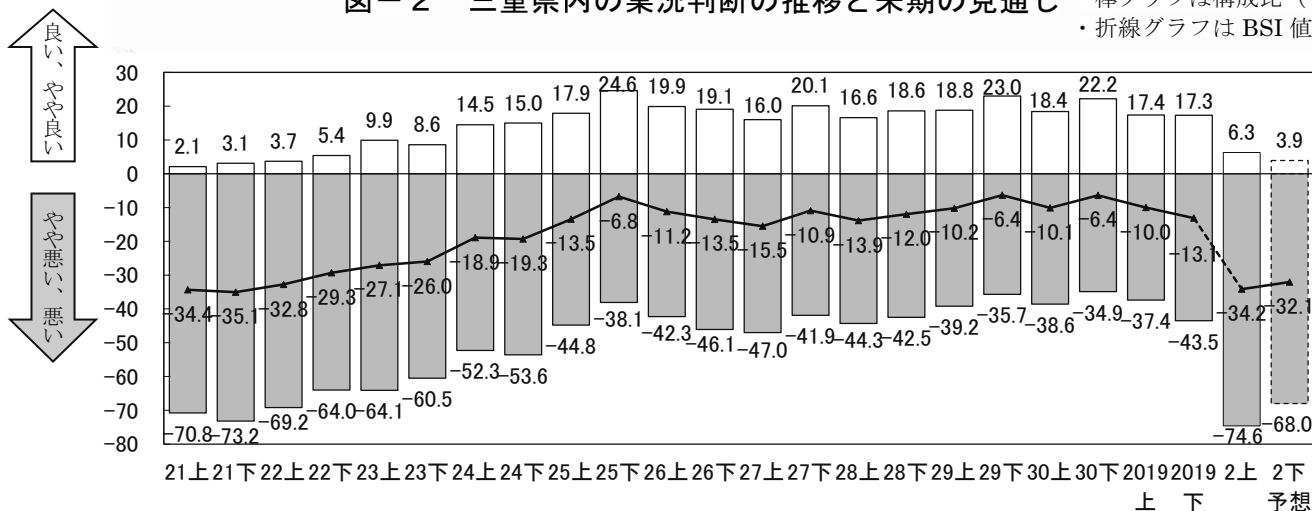


図-2 三重県内の業況判断の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値



2 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

(1) 売上状況

全産業の売上D Iは、今期▲64.1となり前期▲12.5と比べ、51.6ポイントの大幅な悪化となった。同じく小規模企業の全産業の売上D Iは今期▲66.2、前期▲11.1と比べ、55.1ポイントの大幅な悪化となった。業種別では、小規模企業も同様に、すべての業種で30ポイント以上悪化となっている。

(2) 来期の見通し

全産業の来期の見通しD Iは▲64.0と、今期の売上D I ▲64.1と比較し、0.1ポイントとほぼ横ばいの見通しとなっている。小規模企業では、▲1.4ポイントの悪化の見通し。業種別では、製造業と小売業で改善、小規模企業では、卸売業と小売業が改善の見通しを示している。

表－2 売上状況と来期の見通し

	売上D I			今期と前期との比較 (③－②)	見通しD I	今期と来期の見通しとの比較 (④－③)
	前々期 ①2019年 1月～6月	前期 ②2019年 7月～12月	今期 ③令和2年 1月～6月		来期 ④令和2年 7月～12月	
全産業	▲14.0	▲12.5	▲64.1	▲51.6	▲64.0	0.1
	▲16.8	▲11.1	▲66.2	▲55.1	▲67.6	▲1.4
製造業	▲6.2	▲34.9	▲71.9	▲37.0	▲70.7	1.2
	▲23.1	▲38.7	▲75.6	▲36.9	▲82.2	▲6.6
建設業	9.3	▲4.4	▲54.7	▲50.3	▲66.6	▲11.9
	6.5	1.9	▲60.6	▲62.5	▲73.2	▲12.6
卸売業	▲10.7	0.0	▲75.0	▲75.0	▲78.1	▲3.1
	▲37.5	▲7.7	▲81.8	▲74.1	▲72.8	9.0
小売業 ※飲食業含む	▲46.8	▲32.4	▲62.5	▲30.1	▲45.7	16.8
	▲46.4	▲19.0	▲59.1	▲40.1	▲40.9	18.2
サービス業	▲26.4	0.1	▲63.9	▲64.0	▲65.1	▲1.2
	▲33.3	▲3.3	▲62.7	▲59.4	▲67.4	▲4.7

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示
※下段の値は小規模企業

	売上状況			見通し
	前々期 2019年1月～6月	前期 2019年7月～12月	今期 令和2年1月～6月	来期 令和2年7月～12月
全産業				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業 ※飲食業含む				
サービス業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期のDI値により表示
快晴 晴 くもり時々晴 くもり くもり時々雨 雨



DI値
50以上100 25以上 0以上 ▲25以上 ▲50以上 ▲100
50未満 25未満 0未満 ▲25未満 ▲50未満

図-3 津地区の売上状況の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値

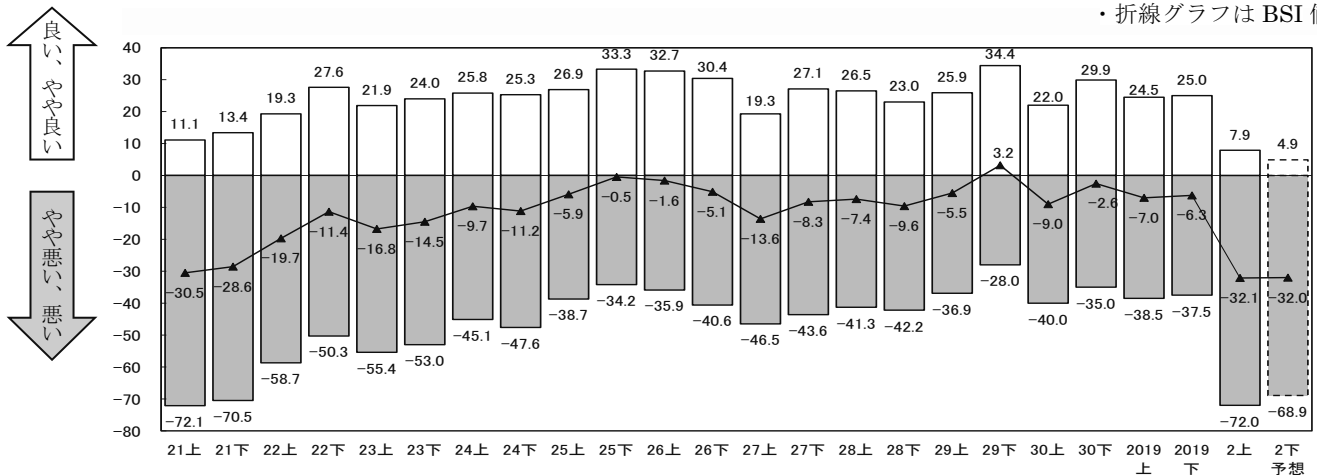
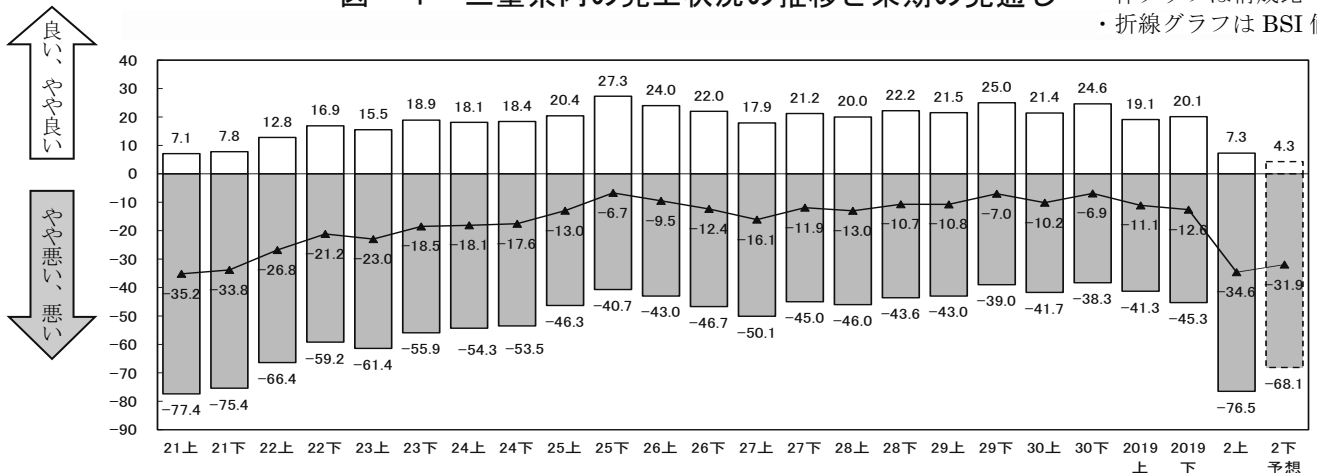


図-4 三重県内の売上状況の推移と来期の見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値



3 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益D Iは、今期▲63.8 と前期▲17.3 に比べ、46.5 ポイントと大幅に悪化した。業種別で見るとすべての業種で悪化となっており、建設業（▲58.6）、卸売業（▲68.8）、サービス業（▲69.9）においては、45.0 ポイント以上の悪化となった。小規模企業でも、すべての業種で悪化となっており、建設業（▲64.3）、卸売業（▲72.8）、サービス業（▲60.4）が50.0 ポイント以上の大幅な悪化となった。

表－3 利益状況

	利益D I			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①2019年 1月～6月	前期 ②2019年 7月～12月	今期 ③令和2年 1月～6月	
全産業	▲18.4	▲17.3	▲63.8	▲46.5
	▲18.1	▲17.7	▲66.2	▲48.5
製造業	▲15.0	▲42.8	▲69.5	▲26.7
	▲20.5	▲48.4	▲73.3	▲24.9
建設業	▲2.0	▲8.8	▲58.6	▲49.8
	▲6.5	▲7.9	▲64.3	▲56.4
卸売業	▲14.3	▲3.0	▲68.8	▲65.8
	▲37.5	▲15.4	▲72.8	▲57.4
小売業 ※飲食業含む	▲46.9	▲37.8	▲54.2	▲16.4
	▲39.2	▲28.6	▲63.7	▲35.1
サービス業	▲24.0	▲3.0	▲69.9	▲66.9
	▲23.1	0.0	▲60.4	▲60.4

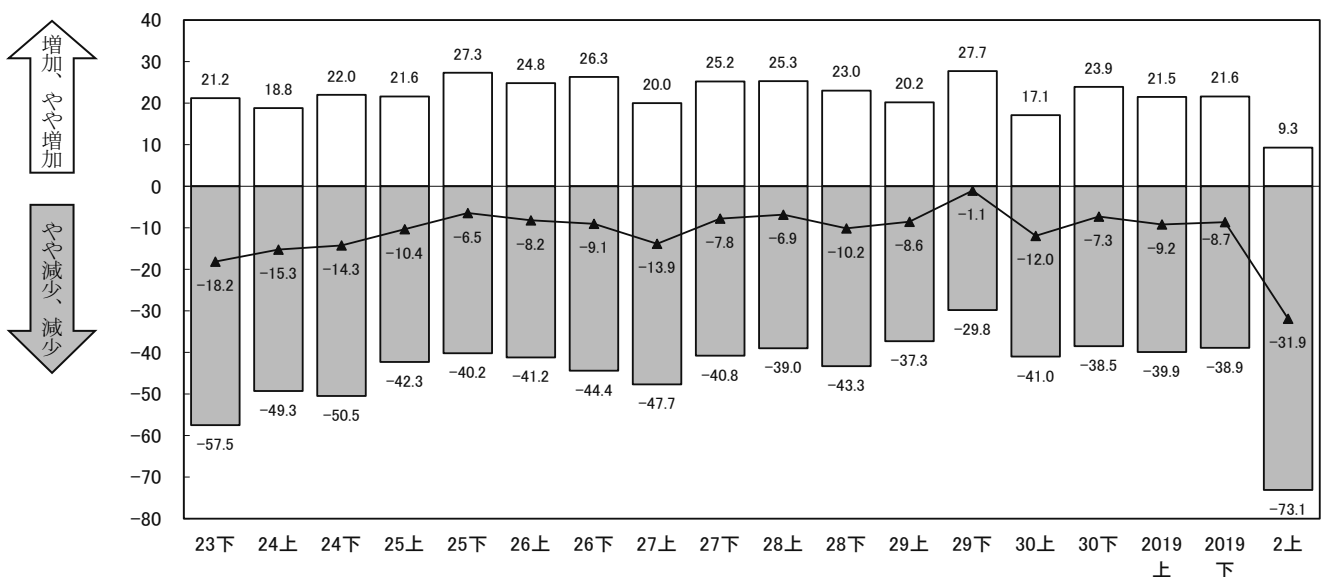
DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－5 利益状況の推移

・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI値



4 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6 参照）

全産業の販売DIは、今期▲31.0 と前期▲18.9 に比べ、12.1 ポイントの悪化となった。業種別で見ると、小売業を除き悪化、小規模企業は、すべての業種で悪化となった。

表－4 販売条件

	販売条件DI			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①2019年 1月～6月	前期 ②2019年 7月～12月	今期 ③令和2年 1月～6月	
全産業	▲12.7	▲18.9	▲31.0	▲12.1
	▲15.8	▲22.7	▲37.7	▲15.0
製造業	▲13.8	▲23.8	▲39.0	▲15.2
	▲17.9	▲32.3	▲46.7	▲14.4
建設業	▲7.3	▲19.2	▲24.0	▲4.8
	▲9.1	▲19.6	▲30.3	▲10.7
卸売業	▲14.3	▲8.9	▲12.6	▲3.7
	▲37.5	▲7.7	▲9.1	▲1.4
小売業 ※飲食業含む	▲12.8	▲32.4	▲20.8	11.6
	▲10.6	▲23.8	▲27.3	▲3.5
サービス業	▲15.7	▲16.4	▲43.4	▲27.0
	▲25.6	▲29.1	▲48.9	▲19.8

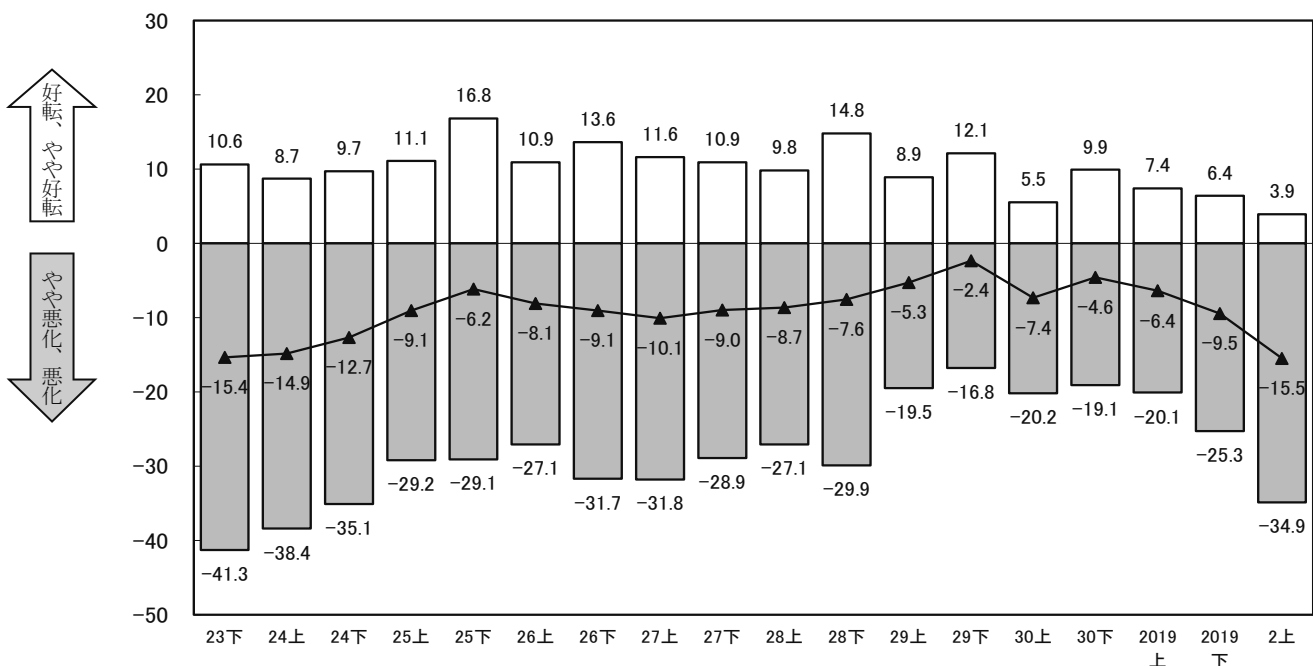
DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－6 販売条件の推移

- ・棒グラフは構成比（％）
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件（表－５、図－７参照）

全産業の仕入条件D Iは、今期▲18.9と前期▲21.0に比べ、2.1ポイントの改善となった。業種別で見ると、サービス業を除き改善、小規模企業もサービス業を除き改善となっている。

表－５ 仕入条件

	仕入条件D I			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①2019年 1月～6月	前期 ②2019年 7月～12月	今期 ③令和2年 1月～6月	
全産業	▲21.2	▲21.0	▲18.9	2.1
	▲25.3	▲24.5	▲23.0	1.5
製造業	▲30.0	▲25.4	▲17.1	8.3
	▲41.0	▲32.3	▲26.7	5.6
建設業	▲21.9	▲22.1	▲16.0	6.1
	▲23.4	▲25.5	▲19.7	5.8
卸売業	▲32.2	▲17.7	▲12.5	5.2
	▲50.0	▲23.1	▲9.1	14.0
小売業 ※飲食業含む	▲12.8	▲21.6	▲16.6	5.0
	▲14.3	▲28.5	▲27.3	1.2
サービス業	▲19.3	▲17.9	▲27.7	▲9.8
	▲28.2	▲19.4	▲25.6	▲6.2

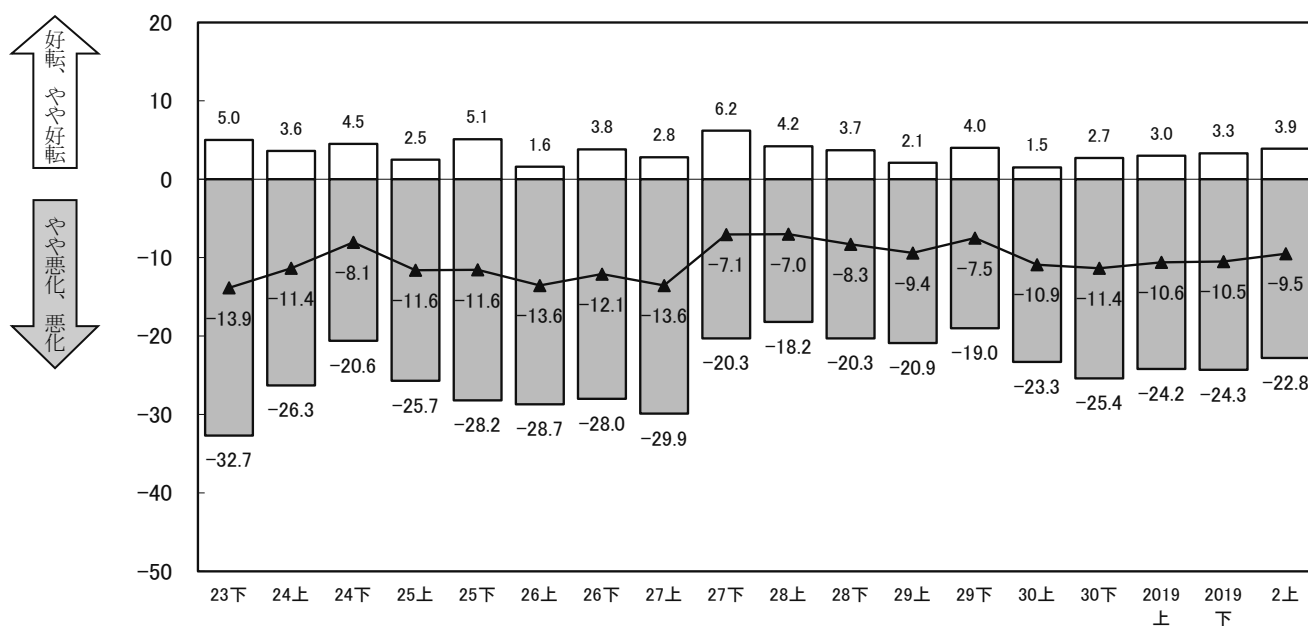
DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－７ 仕入条件の推移

・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI値



5 設備投資（表－6 参照）

(1) 今期の動向

今期に設備投資を実施した企業は、364 企業中 89 企業で全体の 24.5%と前期 97 企業・32.8%と比べ、8.3 ポイント減少する結果となった。業種別では、ほぼ横ばいの卸売業を除いた業種で減少している。小規模企業においても同様である。

(2) 来期の計画

全産業中、来期に設備投資を予定している企業は、364企業中101企業で27.7%と今期実績値89企業・24.5%に比べ、若干増加の見通しとなっている。業種別では、卸売業、小売業、サービス業で増加、製造業、建設業が減少の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

	設備投資実施企業割合			今期と前期との比較 (③－②)	設備投資の予定	今期と来期予定との比較 (④－③)
	前々期 ①2019年 1月～6月	前期 ②2019年 7月～12月	今期 ③令和2年 1月～6月		来期 ④令和2年 7月～12月	
全産業	31.5	32.8	24.5	▲8.3	27.7	3.2
	20.6	23.9	12.7	▲11.2	17.2	4.5
製造業	43.8	44.4	35.4	▲9.0	31.7	▲3.7
	12.8	25.8	17.8	▲8.0	20.0	2.2
建設業	29.2	32.4	28.0	▲4.4	20.0	▲8.0
	24.7	29.4	17.9	▲11.5	10.7	▲7.2
卸売業	35.7	14.7	15.6	0.9	28.1	12.5
	8.3	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1
小売業 ※飲食業含む	31.9	37.8	25.0	▲12.8	29.2	4.2
	17.9	23.8	9.1	▲14.7	13.6	4.5
サービス業	25.3	26.9	16.9	▲10.0	32.5	15.6
	23.1	19.4	7.0	▲12.4	27.9	20.9

※下段の値は小規模企業

6 資金繰りの動向（表－7、図－8 参照）

(1) 今期の動向

全産業の資金繰りD Iは、今期▲30.5と前期▲10.1に比べ、20.4ポイントの悪化となった。業種別ではすべての業種で悪化、小規模企業もすべての業種で悪化となり、小売業（▲50.1）が50.0ポイント以上の大幅なマイナスに転じた。

(2) 来期の見通し

全産業の見通しD Iは、▲34.3と今期の資金繰りD I ▲30.5に比べ、3.8ポイントの悪化の見通しとなっている。業種別では製造業が改善、小売業がほぼ横ばい、建設業、卸売業、サービス業が悪化の見通しとなっている。小規模企業では全産業で横ばい、業種別で、製造業、小売業が改善、建設業、卸売業、サービス業が悪化の結果となった。

表-7 資金繰り

	資金繰りDI			今期と前期との比較 (③-②)	見通しDI 来期 ④令和2年 7月~12月	今期と来期の 見通しとの比較 (④-③)
	前々期 ①2019年 1月~6月	前期 ②2019年 7月~12月	今期 ③令和2年 1月~6月			
全産業	▲6.2	▲10.1	▲30.5	▲20.4	▲34.3	▲3.8
	▲12.4	▲16.5	▲39.7	▲23.2	▲39.7	0.0
製造業	▲8.7	▲25.3	▲41.5	▲16.2	▲40.3	1.2
	▲23.0	▲48.4	▲57.8	▲9.4	▲48.9	8.9
建設業	5.2	▲7.3	▲18.7	▲11.4	▲26.7	▲8.0
	5.2	▲13.7	▲24.9	▲11.2	▲33.9	▲9.0
卸売業	▲0.1	▲11.7	▲21.9	▲10.2	▲34.4	▲12.5
	▲12.5	▲15.4	▲45.5	▲30.1	▲54.6	▲9.1
小売業 ※飲食業含む	▲12.8	▲5.4	▲27.2	▲21.8	▲27.1	0.1
	▲25.0	4.8	▲50.1	▲54.9	▲41.0	9.1
サービス業	▲12.1	▲7.4	▲33.8	▲26.4	▲41.0	▲7.2
	▲28.1	▲12.9	▲39.5	▲26.6	▲41.8	▲2.3

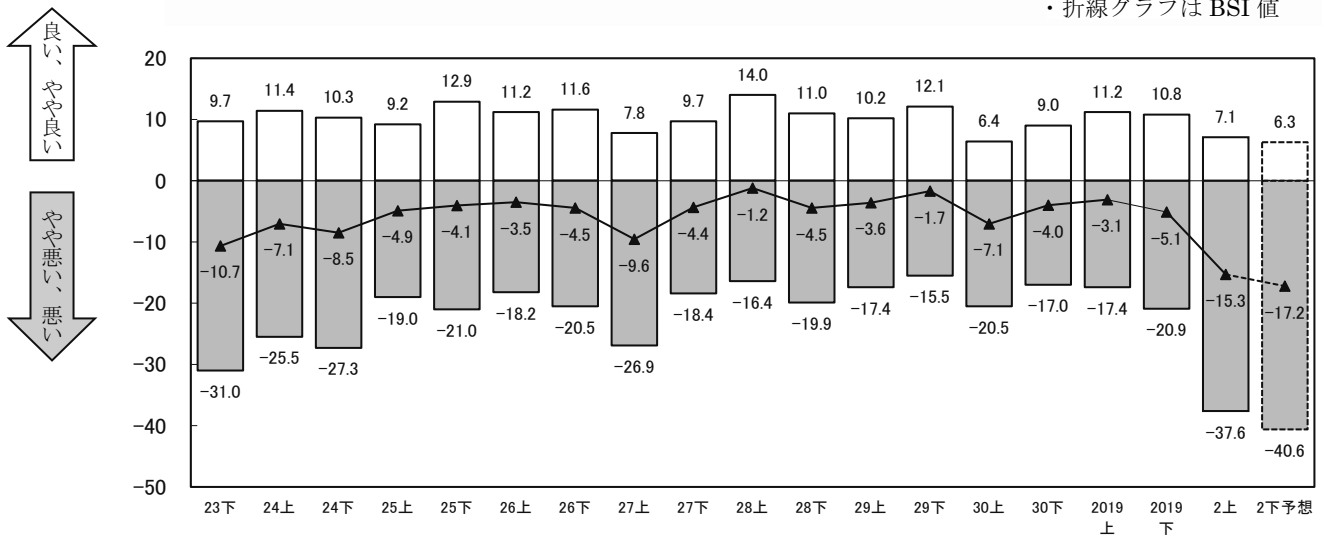
DI=好転（高い）の割合-悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図-8 資金繰りの動向と来期の見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフはBSI値



7 借入の動向（表－8 参照）

全産業の借入難易度DIは、今期 27.8 と前期 23.5 に比べ、4.3 ポイント改善となった。小規模企業では、17.0 と前期 16.2 より 0.8 ポイントとほぼ横ばいとなった。業種別では、製造業、建設業、卸売業、サービス業で改善、小売業では悪化となった。

表－8 借入の難易度

	借入難易度DI			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①2019年 1月～6月	前期 ②2019年 7月～12月	今期 ③令和2年 1月～6月	
全産業	20.1	23.5	27.8	4.3
	13.8	16.2	17.0	0.8
製造業	20.0	19.5	27.4	7.9
	5.2	5.0	20.0	15.0
建設業	22.5	19.4	32.5	13.1
	29.1	19.3	26.9	7.6
卸売業	45.5	30.5	47.6	17.1
	50.0	11.1	14.3	3.2
小売業 ※飲食業含む	14.8	28.6	14.8	▲13.8
	▲6.7	11.1	▲20.0	▲31.1
サービス業	11.1	21.2	26.5	5.3
	0.0	40.0	21.5	▲18.5

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

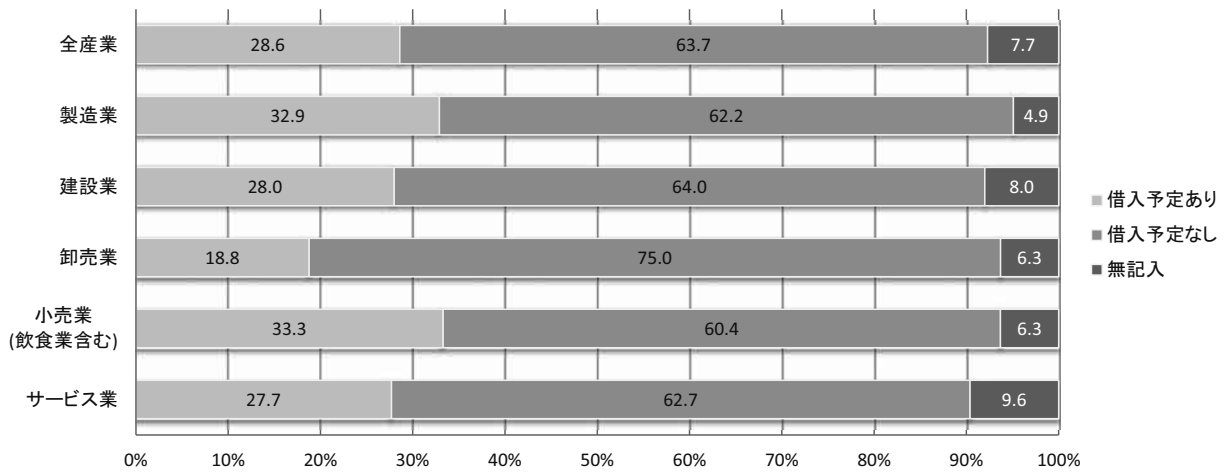
8 借入予定、借入希望先、借入資金の使途予定（図－9 参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は、364 企業中 104 企業で全体の 28.6%と前期実績値 69 企業・23.3%と比べ、若干の増加となっている。

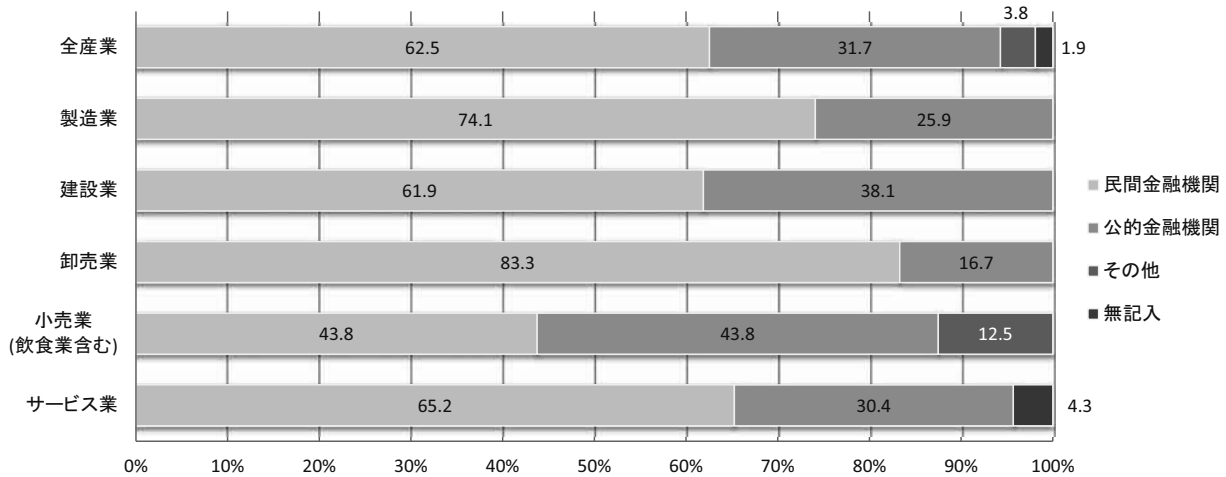
借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は 62.5%と前期 79.7%に比べ減少、公的金融機関では 31.7%と前期 14.5%と比べ、増加となっている。

借入資金の使途予定では、運転資金 81.7%（前期 56.5%）、設備資金 14.4%（前期 42.0%）となっている。

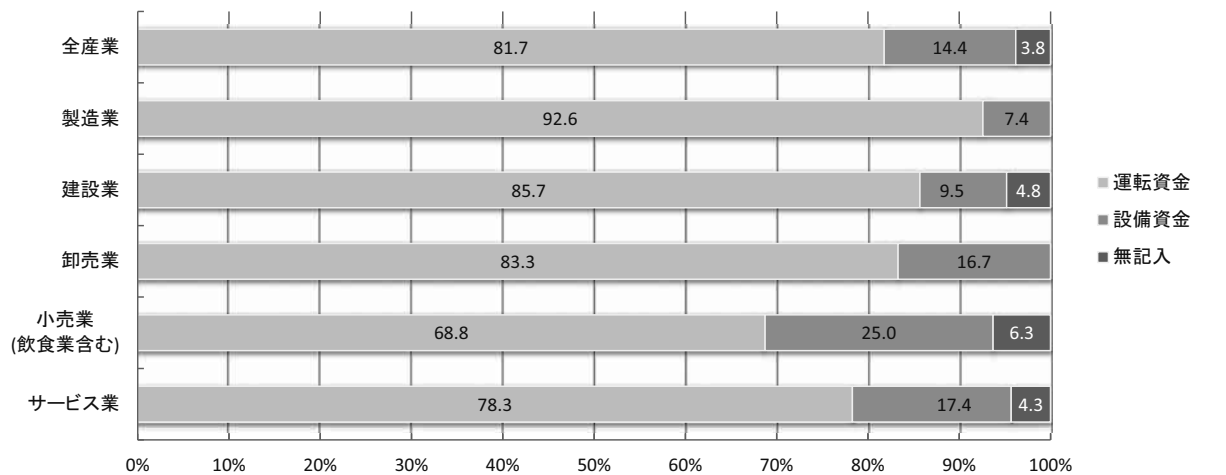
図－９－① 借入予定



図－９－② 借入希望先



図－９－③ 借入資金の使途予定



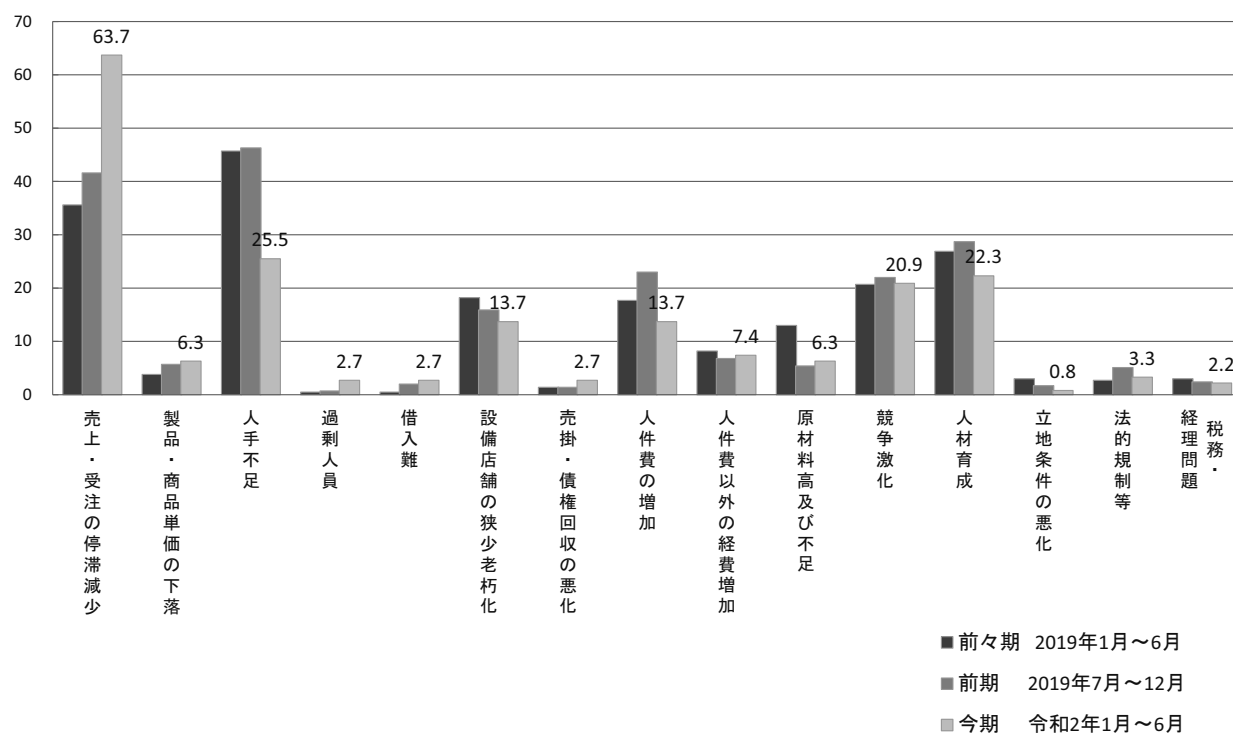
9 経営上の問題点（3項目まで選択）（図-10、表-9参照）

全産業の経営上の問題点は、1位が「売上・受注の停滞・減少」、2位が「人手不足」、3位が「人材育成」となり、「売上・受注の停滞・減少」は前期と比べ20%以上増加し、5期連続で1位であった「人手不足」が2位となった。

また、業種別においては、すべての業種で、「売上・受注の停滞・減少」が1位となり、前期と比べ15%～20%以上増加となった。建設業は5期連続、サービス業は6期連続で1位であった「人手不足」が2位となった。

図-10 経営上の問題点（全産業）

（単位：％）



表－９ 経営上の問題点

(単位：％)

業種	順位	前期 2019年7月～12月期			今期 令和2年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
業 種 別	全産業	人手不足 46.3	売上・受注の停滞減少 41.6	人材育成 28.7	売上・受注の停滞減少 63.7	人手不足 25.5	人材育成 22.3
	製造業	売上・受注の停滞減少 50.8	人手不足 31.7	設備店舗の狭小老朽化 28.6	売上・受注の停滞減少 70.7	人件費の増加 19.5	競争激化 18.3
	建設業	人手不足 64.7	売上・受注の停滞減少 39.7	人材育成 33.8	売上・受注の停滞減少 54.7	人手不足 36.0 人材育成	競争激化 32.0
	卸売業	売上・受注の停滞減少 47.1	人手不足 32.4	人材育成 29.4	売上・受注の停滞減少 75.0	人材育成 28.1	競争激化 21.9
	小売業 ※飲食業含む	売上・受注の停滞減少 45.9	人手不足 43.2	設備店舗の狭小老朽化 人件費の増加 27.0	売上・受注の停滞減少 68.8	人手不足 20.8 設備店舗の狭小老朽化	人件費の増加 競争激化 18.8
	サービス業	人手不足 47.8	売上・受注の停滞減少 38.8	人件費の増加 人材育成 26.9	売上・受注の停滞減少 63.9	人手不足 26.5	競争激化 21.7

景況調査票

令和2年7月

※各設問に対して該当するものに○印を付けてください。

企業の概要

1 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く。)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

企業の経営状況について

3 現状について…令和2年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪い
------	---------	----------	---------	-------

理由: _____

4 今後の見通しについて…令和2年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪い	6. わからない
------	---------	----------	---------	-------	----------

理由: _____

5 売上状況について…令和2年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
------	---------	----------	---------	-------

6 売上の見通しについて…令和2年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	6. わからない
------	---------	----------	---------	-------	----------

7 利益状況について…令和2年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
------	---------	----------	---------	-------

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和2年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化
------	---------	----------	---------	-------

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和2年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化	6. 仕入なし
------	---------	----------	---------	-------	---------

10 設備投資について

令和2年1～6月の実績		令和2年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11 資金繰りの現状について…令和2年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化
------	---------	----------	---------	-------

12 資金繰りの見通しについて…令和2年7～12月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化	6. わからない
------	---------	----------	---------	-------	----------

13 借入の現状について…令和2年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14 借入予定はありますか…(令和2年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特にコロナウイルス感染症の影響、国・県などの経済支援策の活用状況や、今後行政へ希望する対策などを含めて御記入ください。

(_____)

御協力ありがとうございました。

津地区の景況調査 No.76

令和2年9月発行

■ 編集 津商工会議所中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内2-9-14

TEL 059-228-9141 FAX 059-228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1-3-47-1

TEL 059-255-2343 FAX 059-256-3665